

## 「2017政策・制度要求と提言」を岩手県に提出 県からの回答を受け、具体的に意見交換

連合岩手は10月25日に2017年度の岩手県予算編成に向け「2017政策・制度要求と提言」を岩手県に提出しました。

連合岩手からは会長以下6名、また高齢者・退職者連合会からは高橋会長と丹野事務局長が出席し、岩手県からは所用のため欠席した達増知事の代理として菊池哲(あきら)商工労働観光部長、高橋徹雇用対策・労働室長らが出席しました。

冒頭、会長から「2017政策・制度要求と提言」提出にあたっての基本的な考え方を説明し、その後、八幡事務局長から要求内容の概要説明を行いました。

「2017政策・制度要求と提言」では発災から5年8ヶ月が経過した「東日本大震災からの復興・再生の着実な推進」、「社会問題化する『子どもの貧困』の解決に向けた教育の機会均等を保障するための取り組みの推進」、「子ども・子育て支援新制度の着実な実施」、「介護サービスの安定的な供給と介護人材の処遇改善・専門性の向上」、「雇用における男女平等の推進」、「男女平等の視点にたった社会制度・慣行の見直しなど」をはじめとする要求と提言を30分野163項目に集約しました。



また、新たな課題として「ILC 国際リニアコライダ一誘致」と「2016年台風10号被害に関わる復旧・復興」についてもとりあげ、県に対し、とりわけ台風10号被災地と被災者の要望への迅速な対応を求めるとともに、今回のような災害を二度と繰り返さないための対策についても要求・提言を行いました。

回答内容を議論したうえで、重点項目について、県の担当部局と具体的に意見交換を行いながら、「2017政策・制度要求と提言」の実現に向けて取り組みます。

## 働く者が連帯し「安心社会」を切り拓こう

10月29日(土)連合岩手第28回年次大会を開催



## 齋藤健市新会長(自治労)を選出

連合岩手は、10月29日(土)盛岡市・ホテルニューカーリーナで第28回年次大会を開催しました。

大会議長団にJR 総連・大村博行代議員、電力総連・遠山和己代議員を選出した後、執行部を代表して豊巻会長があいさつ、「すべての働く仲間が連帯できる組織となり、働くことを軸とする安心社会の実現に取り組もう」と訴えました。

続いて、連合・安永貴夫副事務局長、岩手県・菊池哲商工労働観光部長、盛岡市・志賀達哉商工観光部長、労福協・砂金良昭副会長(労金岩手県本部長)、民進党岩手県総支部連合会・黄川田徹

代表、社会民主党岩手県連合・小西和子代表、木戸口英司参議院議員、高齢者退職者連合会・高橋貢雄会長からご祝辞をいただきました。

報告・議事では、岩教組・金田一文紀代議員、自治労・野中靖志代議員、JR総連・田頭啓代議員、電機連合・山谷一夫代議員、高教組・小野寺健代議員、JAM・小岩陸代議員から補強する発言があり、すべての報告・議案が承認されました。

また、任期途中で退任する豊巻会長の残任期間を担う齋藤健市会長を選出し、齋藤新会長による団結ガンバローで大会を閉じました。

東北ろうきん

2016

ウインター  
キャンペーン

キャンペーン期間  
11/1(火)~12/31(土)

店頭表示  
金利上乗せ  
年0.10%

新規で5万円以上の定期預金(1年もの)をお預入れの方は  
店頭表示金利に年0.10%を上乗せします。

\*「新規預入れ」のみ、「増額預入れ」は対象外です。 \*窓口での預入れに限りです。  
\*上乗せ金利は、「初回満期日」までとなります。 \*個人のお客様が対象となります。  
\*「ふれ愛預金」「特別金利定期預金」等、一部対象外となる預金があります。

生活応援バンク  
ろうきん

東北労働金庫

下記対象取引のいずれかを  
ご契約・お申込みいただいた方に、  
ヤマセン醤油 もれなく  
昆布醤油を  
プレゼント!

(株式会社八木澤商店の昆布醤油150ml)  
八木澤商店は文化4年(1807年)に創業し、東日本大震災により  
復興期を迎えました。希望者に被災者の「もれなく」が返つたり  
その復興に貢献したことでマスコミにも取り上げられた企業です。

対象取引  
①定期預金(5万円以上の新規お預入れまたは増額書替え)  
②積立型預金(財形・エース預金)の年間積立額5万円以上の  
新規契約または3万円以上の増額契約  
③マイプランの新規ご契約  
④無担保ローン(マイカーローン・無担保住宅ローン・教育ローン・フリーローン)の  
新規ご契約  
⑤住宅ローンの新規お申込み

※ATMやろうきんグループでの取引も対象となります。(店頭でのお申し込みが必須となります。)  
※キャンペーンのプレゼントは、個人のお客さまが対象となります。  
※岩手県産の醤油は「ふるさと産品」に認定された商品です。  
※対象の商品は数量に限りがあります。  
※詳しくは各店舗にお問い合わせください。

0120-1919-62  
(受付時間:平日 午前9時~午後5時)  
<http://www.tohoku-rokin.or.jp>



連合岩手第28回年次大会に、県内各地から代議員・特別代議員・傍聴者の皆さんにご出席いただきました。大変ご苦勞様です。また、連合運動に深いご理解とご協力をいただいておりますご来賓の方々においていただいております。私たち連合岩手の運動前進のために引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

2016年連合は、「クラシノソコアゲ」キャンペーンに取り組んできました。春は、春季生活闘争。すべての働く仲間の賃金の「底上げ・底支え」と「格差是正」の実現をめざしました。要求から見れば十分ではないといえ、3年連続で月例賃金の改善を勝ち取ったこと、非正規労働者は昨年を上回る賃上げを実現することができました。春季生活闘争の成果を地域別最低賃金へ波及させ、岩手では21円アップの時給716円となり、街宣等の告知をしています。2017春季生活闘争に向け、引き続き「底上げ・底支え」「格差是正」と人間らしく働き・人間らしく生活できるための積極的な議論をお願いします。

「クラシノソコアゲ」夏の闘いは、第24回参議院選挙でした。暮らしと命に関わる重要法案を強行した安倍内閣の暴走を止めること、労働者保護ルールの改悪を許さない、民主主義をあきらめない闘いと位置づけ取り組みました。比例区においては、組織内・推薦候補8人の当選、岩手選挙区においては木戸口英司さんの勝利を野党連携により勝ち取ることができました。奮闘された組合員のみなさんに感謝申し上げます。「18歳選挙権」となり最初の国政選挙でしたが、依

## 社会の不条理に 立ち向かい 働く仲間が連帯できる 組織となり 安心社会の実現に向け 連合運動の前進を

大会あいさつ 連合岩手会長 豊巻浩也

然として投票率が低迷していることは大きな課題です。政治をより身近にするための学習をさらに深め、一強＝安倍政治の動向を注視しなければなりません。

首相官邸に設置された「働き方改革実現会議」で議論されている「働き方改革」とは、「誰のため・何のための改革」なのかを見極めなければなりません。過労死・長時間労働・ブラック企業など労働者を使い捨てにする社会と決別する政策を期待します。連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」は、働く人が主役であり、格差のない、希望あふれる社会であります。

東日本大震災から5年7か月が経過しました。今もなお、岩手県内で16,000人を超える方々が仮設住宅で暮らしています。さらに甚大な被害をもたらした台風10号災害。自然災害に強い街づくりを要求するとともに安定的・持続的な雇用の確保に向け「雇用の再生なくして復興・再生なし」の立場で、引き続き被災地支援に取り組んでいきます。

連合が発足し、27年が経過しました。社会の不条理に立ち向かい、すべての働く仲間が連帯できる組織となる必要があります。「未組織や非正規労働者との共闘」「顔の見える運動をすすめる地域協議会」「福祉団体との連携による暮らしサポート」「政策実現に向けた政治活動の強化」「組織拡大による1000万連合の実現」など多くの課題が山積しています。「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、連合運動が前進する第28回年次大会になることを願ひ、挨拶いたします。



10月14日・岩泉町小本地区、家の外構の泥だし



10月21日・岩泉町小本地区、側溝の泥だし



10月28日・岩泉町小本地区、床下の泥だし

## 台風10号からの復旧・復興に向け ボランティアに取り組む

8月30日に岩手県内に甚大な被害をもたらした「台風10号」被害からの復旧・復興の支援のため連合岩手は岩手県社会福祉協議会と宮古市社会福祉協議会を通じて、ボランティア活動に取り組みました。

また、宮古地協、釜石・遠野地協、気仙地協の沿岸3地協の連携による独自のボランティア活動も行うなど、積極的な取り組みを進め、延べ94名のボランティアを派遣してきたところです。

さらに、各構成組織に救援カンパの要請を行い、約107万円の支援金を集約し、東北ブロックからの70万円をあわせて久慈市、宮古市、岩泉町の3市町に贈呈することといたしました。

被災地の復旧・復興はまだ道半ばであり、被災者の生活もいまだ困難な状況にありますが、連合岩手は今後も「2017政策・制度要求と提言」での要請をはじめ、被災者・被災地の声を受け止めながら復旧・復興への取り組みを行います。

## 連合岩手ボランティア参加状況

| 協力社協   | 回数  | 参加者数 |
|--------|-----|------|
| 岩手県社協① | 2回  | 12名  |
| 宮古市社協  | 6回  | 54名  |
| 岩手県社協② | 3回  | 28名  |
| 計      | 11回 | 94名  |

**全労済**では  
**自賠責共済**を取り扱っています！

自動車損害賠償責任共済

ご契約車両を運転中に、他人にけがをさせたり、死亡させたりした場合の対人賠償事故を補償します。

**自賠責共済とは？**

自動車損害賠償保障法によって道路を走るすべての自動車（二輪車を含む）、原付自転車に加入が義務づけられている共済（保険）です。

|      |                    |
|------|--------------------|
| 死亡   | 最高 3000万円          |
| けが   | 最高 120万円           |
| 後遺障害 | 程度に応じて 4000万円～75万円 |

**もし自賠責共済（保険）に加入していないと？**

未加入で運行した場合、法律により罰せられます。

**6か月の免許停止（違反点数 6点）**

**1年以下の懲役または50万円以下の罰金**

**原付・バイクをお持ちの方は特に注意！**

車検制度のない原付・250cc以下のバイクは自賠責共済（保険）の有効期限切れに特に注意が必要です。今一度、有効期限のご確認を！

**10** 満期年 満期月

**マイカー共済とあわせてのご加入をおすすめします。**

●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。

**全労済岩手県本部（岩手県労働者共済生活協同組合）**

- 盛岡支所 千020-0026 盛岡市開運橋通1-1
- 北上支所 千024-0061 北上市大通り2-11-23北上大通ビル1階
- 一関支所 千021-0031 一関市青葉1-8-20鈴木ビル1階
- 釜石支所 千026-0034 釜石市中妻町1-15-8

**保障のことなら全労済**

全労済は、営利を目的としない保険の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいている組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全国労働者共済生活協同組合連合会

# 2016 最低賃金周知キャンペーンを全県で展開

「2016特定最低賃金」も12月11日から発効



一関地協。弁士の佐々木県議を交えて。



胆江地協の街宣。菊池議長があいさつ。



宮古地協の街宣。畑浩治元衆議院議員が熱弁

2016年度の地域別最低賃金が10月5日から時給「716円」に改正されたことに伴い、連合岩手は「2016改正地域別最低賃金周知キャンペーン」を実施しました。キャンペーンでは10月26日～11月3日に県内で各地協が中心になって街宣活動を行うとともに、11月4日～6日の3日間、集中労働相談を行いました。

街宣活動では、組織内議員や推薦議員の協力をいただいて花巻北上地協、胆江地協、一関地協、釜石・遠野地協、宮古地協、県北地協で実施、宮古・久慈・二戸市での街宣では畑浩治元衆議院議員が弁士をつとめました。

また、2016年度の「特定（地域別）最低賃金」の審議は、10月12日の第5回本審議会で採決となり下表のと通りの改正となりました。その後、異議申し出もなかったことから法定発効日の12月11日から適用になります。

## 2016年度特定最低賃金改正状況

| 業種     | 前年度<br>時間額 | 今年度<br>時間額 | 引上額  |
|--------|------------|------------|------|
| 鉄鋼・金属  | 772 円      | 790 円      | 18 円 |
| 電気機械   | 740        | 756        | 16   |
| 光学機械   | 758        | 774        | 16   |
| 各種商品小売 | 752        | 767        | 15   |
| 自動車小売  | 781        | 800        | 19   |

## 全国一斉労働相談ダイヤル「STOP! 長時間労働」を12月6日～7日に実施

連合は「クラシノソコアゲキャンペーン」の中で、「長時間労働の是正」「違法な働き方の撲滅」をテーマに掲げており、12月6日（火）～7日（水）に「STOP! 長時間労働～あなたの働き方は大丈夫」をテーマに全国一斉労働相談ダイヤルを実施します。

過労死やメンタルヘルスなど、長時間労働の恒常化に

よって様々な問題が増加しています。

長時間労働の是正に向け、連合岩手も連合岩手、花巻北上地協、宮古地協、気仙地協、一関地協で労働相談ダイヤルに取り組みます。電話番号はフリーダイヤル0120-154-052（いこうよ れんごうに）、午前10時～午後6時まで受け付けています。

# 6構成組織から方針を補強する活発な意見



岩教組・金田一代議員



自治労・野中代議員



J R 総連・田頭代議員



JAM・小岩代議員



電機連合・山谷代議員



高教組・小野寺代議員

第28回年次大会では、報告・議案に対し6名の代議員から発言がありました。

岩教組・金田一代議員からは、2016 人勧の課題と賃金確定闘争をたたかう決意、さらに「過労死防止シンポジウム」への参加について発言がありました。

JR 総連・田頭代議員からは、参議院議員選挙の成果と課題にふれながら、次期総選挙に向けた取り組みの強化について発言がありました。

電機連合・山谷代議員からは、金属部門連絡会の活動の状況と連合岩手からの支援について発言がありました。

高教組・小野寺代議員からは、ブラックバイトの実態にふれながら労働教育の必要性について発言がありました。

自治労・野中代議員からは、平和行動の取り組みと参議院議員選挙での成果を発展させる必要性について発言がありました。

JAM・小岩代議員からは、機関会議の平日開催にあたっての参加者確保について発言がありました。

八幡事務局長から、発言の趣旨を活かし、2017年度の運動を展開する決意について答弁を行いました。

## 豊巻会長が退任 三浦・千葉両副会長も



### 齋藤健市新会長あいさつ

豊巻浩也前会長から会長の任を引き継ぎました自治労の齋藤です。よろしくお願いいたします。

連合岩手は1989年12月に先行していた民間連合と官公労部隊が統合して発足しました。豊巻前会長のあいさつにもありましたように27年が経過したことになります。

発足当初は、それぞれ方針や組織形態が違っており、「顔合わせ」「心合わせ」というのが当時のスローガンでした。そして「力合わせ」をしながら連合岩手の組織強化を進めてきました。それらのエネルギーが今年7月の参院選に結びついたと思います。

そのエネルギーを基礎にしながら、労働組合の使命である組合員の生活と権利を守り、発展させていきたいと思っています。

あわせて、未組織労働者の組織化、政策・制度要求の推進をはじめ、社会の不条理に立ち向かう連合運動を皆さんとともに進めて行きたいと思っています。

皆さんのご協力をお願いいたします。



志賀弘基副会長

谷藤学副会長

第28回年次大会で豊巻浩也会長（岩教組）が退任し、新たに齋藤健市新会長が選出されました。また、副会長の三浦清さん（情報労連）、千葉清人さん（自動車総連）も退任し、新たに志賀弘基さん（自動車総連）、谷藤学さん（情報労連）が副会長に選出されました。

執行委員では、大会までに高橋克典さん（岩教組）、小澤豊和さん（青年委員長・自治労）が退任しており、平野薫さん（岩教組）が執行委員に選出されています。また青年委員長として中川理恵さん（自治労）が執行委員の任にあたっています（任期は前任者の残任期間）。



退任あいさつする豊巻浩也前会長



退任あいさつする千葉清人前副会長

## 大会アピール (提案) 蛇口晃特別執行委員



東日本大震災津波から5年7か月が経過し、被災地では一歩ずつ復興の道を歩み続けている。10月に行われた“東日本大震災復興の架け橋”「希望郷いわて国体」「希望郷いわて大会」は大成功のうちに終了し、復興の進捗とこれまでの支援に対する感謝を全国に発信した。しかし、岩手では「みなし仮設住宅」も含めた「応急仮設住宅等」の居住者が今なお16,000人を超え、生活再建や被災者の心身の健康問題など雇用と生活の厳しさに直面し続けている。

さらに県内に甚大な被害をもたらした台風10号被害からの復旧・復興が大きな課題となっている。

連合岩手は、被災地の課題解決に向け、連合本部、構成組織、地域協議会と連携し「政策・制度要求」等を通じ、被災者に寄り添ったきめ細かな対応を続けるとともに、震災を風化させない取り組みを進め、真の「復興・再生」を成し遂げるため全力を尽くす。

一方、先の参議院選挙で衆参両院の安定多数を得た安倍政権の政策運営を注視しなければならない。

「アベノミクスは道半ば」と、さらに加速する必要性を声高に訴えているが、金融政策の手詰まりや副作用も指摘される中、財政出動への依存は強まり、財政規律の緩みや将来へのツケ回しの加速が懸念されている。いま必要なのは、将来世代への責任を果たし得る政策であり、雇用と社会保障の不安解消とそのもとの需要の創出、教育環境の充実など、地に足のついた政策体系への転換である。

また「最大のチャレンジは『働き方改革』」であるとして「働き方改革実現会議」を設置し、「同一労働同一賃金」「長時間労働の是正」「女性・若者・高

齢者の活躍」などを課題として掲げている。あたかも、連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」を認めるかのように見せかけてはいるものの、他方では長時間労働を助長する裁量労働制の対象業務の拡大や「高度プロフェッショナル制度」を導入するための労働基準法「改正」の動きも並行させており、安倍政権のいう「働き方改革」が「誰のため、何のための『働き方改革』なのか」を見極めなければならない。あくまでも主役は「働く者」であり、国や企業ではない。連合は、どのような働き方であれ、男女や年齢にかかわらず、誰もが希望をもって働き、それをお互いに支え合える持続可能な社会にしていこうための、実効性ある改革を求めていく。

さらに、民主主義・立憲主義を無視し、昨年第189通常国会で「安全保障関連法」を強行的に成立させた安倍政権の暴走は、ついに憲法「改正」に向かおうとしている。数の力を背景とした暴挙を二度と繰り返させないために、私たちは強い警戒心とともにその動向を注視しなければならない。

いまこそ連合は、働く者・生活者の一人ひとりの怒りを結集し、社会を変革する大きな力にかえていく。そして、集团的労使関係を社会の隅々にまで張りめぐらし、互いに支え合い、助け合い、ともに運動する仲間の輪を拡げていく。

私たちがめざすのは、働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと多様な働き方を通じて社会に参加でき、セーフティネットが組み込まれた「働くことを軸とする安心社会」である。

社会の不条理に立ち向かい、「クラシノソコアゲ応援団 RENGOKU キャンペーン」を地域で展開しながら、すべての働く者・生活者の希望と安心を取り戻すために連帯して立ち上がろう。

そして、解散総選挙がささやかれる中、巨大与党の暴走を止め、働く者・生活者の声を政治に反映させるため、連合岩手の総力をあげて闘おう。

### 年次大会にご出席いただいた来賓の皆様

連合本部副事務局長 安永貴夫様  
岩手県商工労働観光部長 菊池哲様  
盛岡市商工観光部長 志賀達哉様  
東北労働金庫岩手県本部 本部長 砂金良昭様  
全労済岩手県本部 本部長 来内広幸様  
ハピネス共済会 理事長 上田 高様

消費者信用生活協同組合専務理事 亀澤和重様  
岩手県学校生活協同組合専務理事 川村 元様  
民進党岩手県総支部 代表 黄川田徹様  
社会民主党岩手県連合 代表 小西和子様  
参議院議員 木戸口英司様  
岩手県高齢者・退職者連合会 会長 高橋貢雄様